

WORLD PRESS PHOTO

17

世界報道写真展 2017 関連企画

# Makoto TAKENAKA

## Jazz Piano Consert

—変えられた運命



2017.10.14 (Sat.)

14:00~15:30

立命館大学国際平和ミュージアム 1階ロビー

ベトナム戦争が泥沼化していた1971年。

17歳の時に召集令状が届き、竹中氏は米国籍を捨てました。

戦後、正規の学生ビザで米国に留学中、法令違反で国外退去を命じられましたが  
裁判を経て1986年の法令 Immigration Reform and Control Act (IRCA) により  
米国滞在5年以上の不法移民にも永住権が認められました。

ジャズピアノの演奏とともに、世界報道写真展2017の副題である  
「変えられた運命」に照らして、竹中氏ご自身の体験や  
それぞれの曲に込められたエピソードなどを語っていただきます。

アメリカからの一通の手紙で  
何もかも変わってしまった。

2017.10.14(Sat.) 14:00~15:30

立命館大学国際平和ミュージアム 1階ロビー

※入場無料

世界報道写真展は大人500円、中・高生300円、小学生200円

世界報道写真展は16時半までご覧いただけます

演奏曲目 青い目の人形／ドナドナ／里の秋／ともしび など  
(演目は変更の可能性があります)



竹中真 ピアニスト、作曲家、米国コネチカット州ニューヘブレン生れ、京都育ち。  
国際基督教大学大学院修了後、ボストンのパークリー音楽大学に留学。最優秀賞にて  
卒業後、演奏活動を経て日本人初のパークリー音楽大学助教授になり、准教授に昇格。  
マサチューセッツ工科大学やボストン大学、ブリッジウォーター大学やマサチュー  
セッツ州立大学などで教鞭をとった後、2014年より同志社女子大で特任講師。ピア  
ノをネイティヴ・サンの本田竹廣氏、パークリーではレイ・サンティージ氏に師事し  
た。1000曲以上の幅広いレパートリーがあり、ジャズスタンダード、ポップス、ク  
ラシックなど多岐にわたっているが、日本や世界の伝統的な民謡や童謡などをジャズ  
化することが特徴のひとつ。ロシア、ドイツ、ハンガリー、ルーマニア、ブラジル、  
カナダ、コスタリカ等々世界のさまざまな国で演奏や講義を続けている。CDや著書  
もあり、雑誌「J」に竹中真のトーキングライブ、ジャズライブにアメリカのピアニスト  
生活を長年連載した。



立命館大学  
国際平和ミュージアム  
Kyoto Museum for World Peace,  
Ritsumeikan University

<http://www.ritsumeai.ac.jp>

〒603-8577  
京都市北区等持院北町56-1  
TEL075-465-8151/FAX075-465-7899



@kmwp\_PR twitter.com/kmwp\_PR



- JR・近鉄京都駅から  
市バス50、快速205、JRバス「立命館大学前」  
市バス205「わら天神」
- JR円町駅から  
快速202、快速205、15、臨「立命館大学前」  
JRバス高尾・京北線「立命館大学前」  
204、205「わら天神」
- 阪急電車西院駅から  
快速202、快速205、臨「立命館大学前」  
205「わら天神」
- 京阪電車三条駅から  
12、15、51、59「立命館大学前」



※お車でのご来館はご遠慮ください